

地域人材ネット

ICTを活用した、生活現場からの地域メディア・人づくり(住民ディレクター養成)

高橋 明子 (たかはし あきこ)

(1)アクション・リサーチ 代表
(2)亜細亜大学都市創造学部 非常勤講師



○ 登録者情報

所在地

東京都杉並区

略歴

1992年 株式会社三和総合研究所 入社
2002年 同 主任研究員(2007年退社)
2007年 アクション・リサーチ設立
2007-2008年 CANフォーラム事務局長兼運営委員長を兼任
(CANフォーラムは情報化月間2007 情報化促進部門 総務大臣表彰 受賞)
2007年～ 総務省地域情報化アドバイザー
2010年 杉並区教会通り商店街「千客万来事業」事業 東京都商店街グランプリ受賞
(2009年度委託事業)
2015年 「情報通信月間」関東総合通信局長表彰(個人)
2017年～ 亜細亜大学都市創造学部非常勤講師(情報社会学、NPO・NGO論)
2018年9月～ (株)エンパブリック コーディネーター

著書・論文等

「元気村はこう創る」共著(日本経済新聞出版社、2007年)－第4章「地域情報化は移植できるのか」－
「住民の自律と協働を促す映像制作プラットフォーム」(2006年度、慶應義塾大学 大学院 修士論文、2006年)
「地域情報化 認識と設計」共著(NTT出版、2006年)－第10章 「地域情報化のコネクタ」－
「地域に広がるネットコミュニティ」(財団法人日本情報処理開発協会『情報化白書2006』第3章第3部、2006年)
／他

○ ICTを活用した、生活現場からの地域メディア・人づくり(住民ディレクター養成)

取組の内容

地域情報化のコンサルタントとして、各種計画策定、リサーチ、事業展開に携わってきた経歴を活かしつつ、現在は、地域づくりに欠かせない人材の養成を、「住民ディレクター」という番組制作活動を通じて実践することに注力しています。番組制作のプロセス(企画、取材、編集、発信)は、企画力、コミュニケーション力、表現力等、地域づくりに必要なプロデュース力を身につけた人材養成に適しています。

さらに、そうしたノウハウを各地に移転するにあたり、ICTをフル活用した仕組み(プラットフォーム)として、一般社団法人八百万人を立ち上げ、各種SNSを通じた支援を展開しています。育児や介護に携わるライフステージにおいても、あるいはサラリーマンであっても、プロセスにICTを活用することで、時間、場所を問わずに活動に参加することが可能となります。またそれぞれの生活現場での活動を、番組として可視化、ICTを通じて気軽に共有できることで、全国共通の課題解決にもつながります。

リサーチ(コンサルティング)＋アクション(実践)＋ICTをフル活用したノウハウ移転の“3点セット”で、生活現場からの地域メディア形成を通じ、地域づくりに欠かせない人材養成を展開しています。

実績

シンクタンク勤務時代のコンサルティング業務では、10以上の県、市町村の地域情報化計画策定を責任者として遂行しました。独立後、住民によるネット放送局「杉並TV」を設立し、2009年度には地元商店街の30店舗以上のCMを、商店主とのコラボで制作するなどして、東京都の商店街グランプリを獲得しました。
他、千葉県山武市、群馬県渋川市、上野村他、各地での「住民ディレクター養成」講演・実践講座を行っています。
ICTを活用したノウハウ移転では、90年代後半からCANフォーラムの運営委員、2007年度には事務局長として、地域情報化プラットフォームの横展開を推進してきました。
2011年には、住民ディレクターの全国ネットワークである一般社団法人八百万人をたちあげ、福岡県東峰村の「とうほうTV」と連携しながら、2014年はNHK大河ドラマ軍師官兵衛を追走する、住民ディレクター番組「官兵衛で國創り」を毎週生放送する事業に協力し、全国の生活者による地域メディア創出を目指して活動しています。
なお、2014年2月の関東甲信地域記録的大雪に際しては、群馬県上野村の村民と協働で、Facebookを活用し村民からの情報発信を展開しました(<https://www.facebook.com/2014SNOWuenomura>)。

工夫した点や苦労した点

出産、育児、介護などの自身のライフステージに従い、地域づくりへの関与の仕方を柔軟に変化させながら、現在の手法を確立してきました。「ヨソモノ」として外部の視点でコンサルティングする立場から、「バカモノ」として自ら実践する(杉並TV代表の)立場へ。両者の視点を併せ持ちながら地元や他地域で、再度コンサルティングする立場へ(各地での講演、講習会の実施、地元商店街からの委託事業等)。さらに、ICTをフル活用することで、生活現場に密着しつつ、全国の仲間とともに、各地共通の課題解決に取り組むことができるプラットフォーム(場)をつくりました。生活現場から生まれた、ライフステージにとらわれず、自身の住む地域を自らの手で作り発信する地域づくりの手法です。

ひとことPR

住民ディレクター(同じく地域人材ネットの岸本晃氏考案)は、番組制作のプロセスを通じ、人との対話が深まり、地域づくりに主体的に関与できる人材が育つ優れた手法です。その手法を私自身が自ら実践し、さらにどのような地域にも導入できるよう、また単独地域のみでは陥りがちな課題を各地でともに解決できるよう、進化させてきたのが、“3点セット”です。



商店街で住民ディレクター



15時間迎春ライブ報告書

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策	○	9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
○	5	定住促進	○	11	その他
○	6	観光振興・交流			